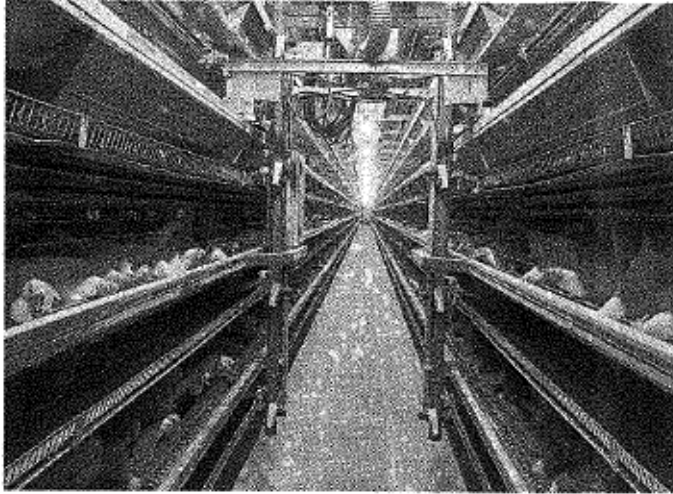


独自アルゴリズムによる高い判定精度

	白子鶏	金玉鶏
<b>発見率</b>	100.0%	99.6%
見逃し 死傷がいるのに、いないと判定	(見逃し: 0/296)	(見逃し: 1/309)
<b>誤検知率</b>	2.0%	2.6%
見誤り 死傷がないのに、いると判定	(見誤り: 6/296)	(見誤り: 8/309)



マルイ農協系列農場の鶏舎に納入した高精度  
斃死鶏発見システム第1号の稼働状況

(株)ハイテム(安田勝彦社長)―本社・岐阜県各務原市テクノプラザ2―10)は、数年前から高精度斃死鶏発見システムの開発をNECソリューションイノベータ(株)、マルイ農業協同組合(本部・鹿兒島県出水市)と進めてきたが、1年間の現場実証テストを経て、マルイ農協の系列養鶏場である高尾野養鶏農園の8万羽鶏舎に第1号を納入し、稼働を開始した。現場実証での精度デー

第1号稼働開始

# ハイテムの高精度斃死鶏発見システム NEC、マルイ農協と共同開発

夕例は表の通り。NECソリューションイノベータの画像認識技術を背景に開発された独自のアルゴリズムにより、高い発見率と低い誤検知率を実現している。

4月24〜26日に開催される国際養鶏養豚総合展(IPPS)で実機を稼働展示し、2025年から「レイヤーチェッカー」の商品名で一般向け発売を予定している。

鶏鳴新聞 第2214号

2024年3月15日